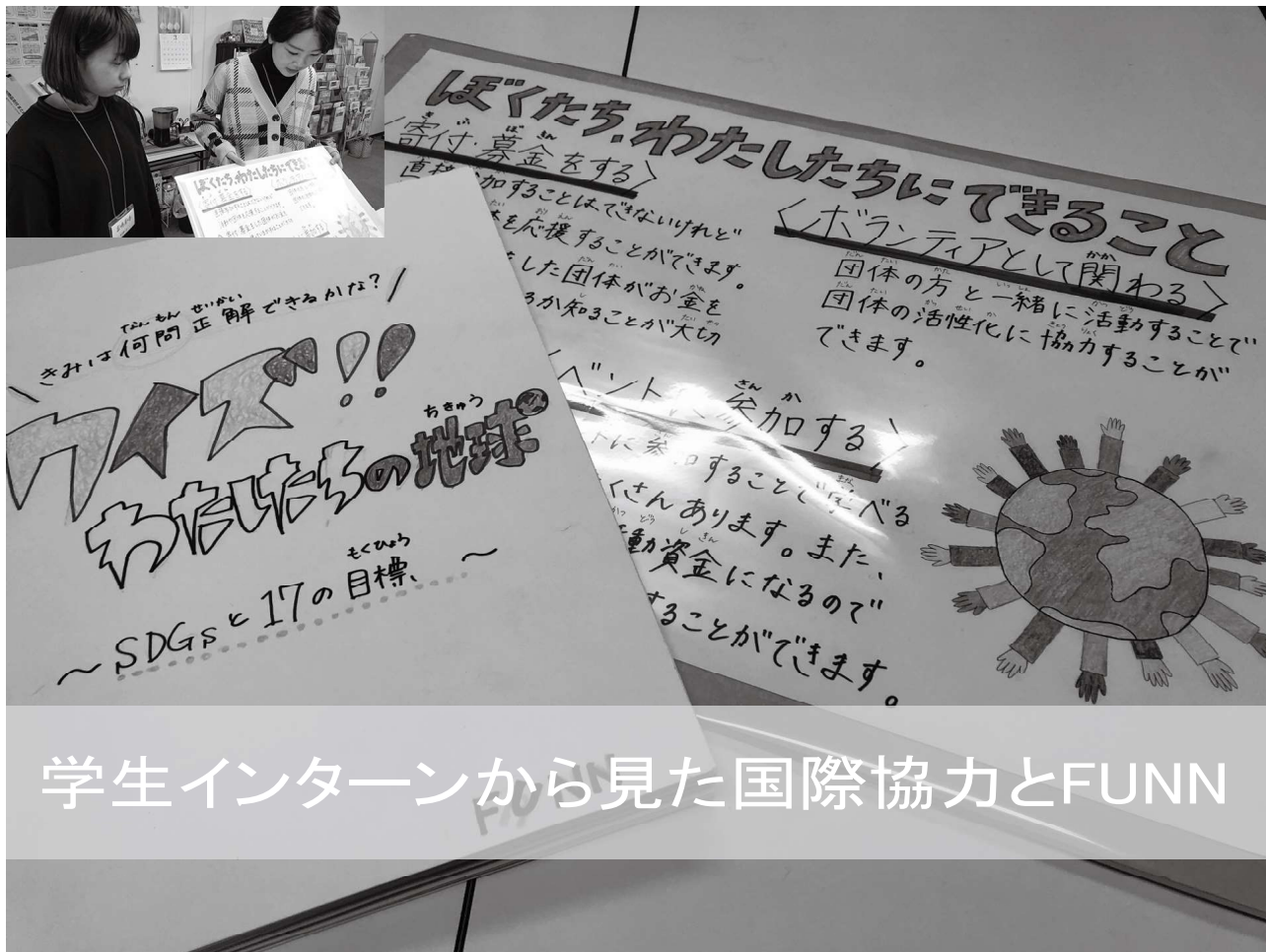


Contents

P 2-3 「NGO向け研修レポート」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」

P 6 「インターン活動レポート」 P 7 「イベント情報」



学生インターンから見た国際協力とFUNN

インターン生の視点から
国際協力ニュースをお届けします！

こんにちは！ わたしたちは2月からFUNNでインターンをさせていただいております。今回は私たちインターンが国際協力ニュースの制作を担当させていただきました！ 2ヶ月間のインターンの中で参加させていただいたJICA九州での合同研修会や、FUNNの加盟団体さんへのインタビューをお伝えしていきます！

上の写真は、私達がインターン期間中に制作したSDGsの教材です！ 親しみやすいイラスト、飛び出す絵本のような楽しい仕掛けを盛り込みました。SDGsとは何なのか、小学生・中学生にもわかりやすいように説明しています。これから国際協力のイベント等でお披露目する予定です！ みなさんに楽しんで使ってもらえるようにしていきたいと思っています。

今回は、インターン生・学生ならではの目線で国際協力ニュースをみなさまにお届けします！



九州のNGOのための研修プログラム 第3回を開催しました！

JICA「NGO等提案型プログラム」× FUNN
『解決したい気持ちを形に変える—九州のNGOの組織強化』

インターン生による
研修プログラムのレポート

FUNNのインターンとして研修に参加させていただきました。講師の認定NPO法人アカツキ代表理事の永田さんの指導のもと、1日目はみなさんと一緒に座学を中心に受けさせていただきました。まずは前回までの研修をおさらいし、内容を確認したあと、今回の研修テーマである「組織改革の検討」へと進んでいきました。

「あなたが人生で一番大切にしたいものは何?」「有意義な会議、つまらない会議はどんなもの?」というような、身近な話題から深く掘り下げていきます。

個人で考えるワークからスタートして、グループでのワーク、そして全体への共有を行うという構成になっており、参加されたみなさんが自分の考えをしっかりと持ちつつ生き生きと発信、情報共有する姿がとても印象的でした。

お昼ご飯はJICA九州の中にある食堂で! 食堂の前には各国の料理が並んでおり、興味をそられるも

のばかりでした。私達が食べた料理はチキンカレーがメインのおすすめセットメニューです。受講者のみなさんはそれぞれの好きな国の料理を食べながら、他団体の方と楽しそうにお話されてました。



月替わりの特別メニューを食べることができました!

2日目は初日の講義の内容を踏まえつつ、それぞれの団体ごとにアイデアを展開していきました。私は「じゃつど」さんとともにワークに参加させていただきました。まず初めに、団体の課題を細分化し、根本的な問題はどこにあるのかを洗い出しました。そして、それを基にして解決策を挙げ、その結果をメンバーで共有しました。アイデアが出なくなってしまうときには、他の団体

JICA「NGO等提案型プログラム」× FUNN
『解決したい気持ちを形に変える—九州のNGOの組織強化』

実施日: 2019年3月2日(土)、3日(日)

会場: JICA九州

参加団体: 九州地域に拠点を置くNGO 8団体
(+ビデオ配信でのオブザーバ参加)

内容: 【集合研修 第3回】組織改革の検討
組織や活動運営を円滑にする体制づくりと必要なコトの提案
自団体の運営改善に向けたアイデア検討
講師: 永田 賢介 氏 (認定NPO法人アカツキ 代表理事)

さんの様子を伺いました。すると「こんな着眼点もあるんだ」という発見があり、とても興味深かったです。

研修を終えて

私はNGO団体に所属していないため、こういった場に参加し、団体さんのお話を近くで聞くことは初めてでした。不安もありましたが、団体さん目線でじっくりとワークに取り組ませてもらうことで大きな気付きがありました。それは、自分でNGOに対して壁を



長丁場でしたが、最後まで真剣なまなざしで聞かれていました。

作っていたということなのです。実際にはNGOというのはとても身近なところであり、私にもできることがたくさんありました。まずはNGOについてもっと知り、興味を持ったことに挑戦していきたいと思います。(富嶋)

2日間研修を受ける中で、講師の永田さんのお話はもちろん、参加NGO団体の方々とお話しする機会もたくさんありました。その時に、みなさんが国内、国外問わず様々な活動をしていることを実際に聞いて知って、自分の知らなかった世界がこんなにあるんだと気づききっかけにもなりました。(大平)

アクティビティ

今回の研修では、講義の合間を縫ってアクティビティを行いました。1日目には糸島スポーツクラブの腰純美さんに耳ヨガを、2日目には飯田武正さんにアイズブレイクをしていただきました。今回は耳ヨガについて少し紹介したいと思います。

耳にある『つぼ』。その数は220個もあることを知っていますか？ 今回の研修では、全員で耳つぼを押しながら体を動かし、呼吸を整えることで凝り固まっていた筋肉をほぐしていきました。私自身、初めての耳ヨガを体験しましたが、耳つぼを押しながら体を動かすことで体と心がスッキリし、その後は気持ちを入れ替えて講義に臨むことができました。

耳ヨガを教えてくださいました腰純美さんは、糸島で耳ヨガ朝活トレーナーとして活動しているらしいです。みなさんも疲れた心と体のケアに耳ヨガをしてみてくださいいかがですか？



1日目のアクティビティの様子。心も体もリフレッシュ!

今から参加するには？

「私も参加したい！」と想っていたただいた方、ありがとうございます！

アクションプランの作成・実行までと一緒にいう団体の受付は締め切ってしまったのですが、会場にて研修を聴講できる「オブザーバー参加」はまだまだ募集しております。

また、会場への移動が難しい場合には、Youtubeでの配信も同時に行っており、ですので、少しでも興味を持っていただいた方はお問い合わせくださいませ。

NGO等向け研修の オブザーバ募集

NGO福岡ネットワーク(FUNN)では、「解決したい気持ちを形に変える」をテーマとして、九州地域の国際協力NGOが更に、パワーアップを目指す研修を行います。

この研修は、NGO団体ではないけれど、国際協力やNGO活動にちょっと関心があるかも?!という、個人やNGO以外の組織の皆さまにも気軽に聴講いただけるものとなっています。研修参加団体のお申し込みは終了していますが、今回オブザーバー枠を用意いたしました。この研修を通じて、国際協力NGOの活動に少し触れてみませんか？

2019年5月25日(土)・26日(日)
【第4回】アクションプランの策定

2019年7月6日(土)・7日(日)
【第5回】アクションプラン実行宣言

お申込みはこちら
https://ngofukuoka.net/ngo_kenshu201820/



インターン生による加盟団体インタビュー

NPO法人トウマンハティふくおか

インドネシアからの留学生たちとともに、国際交流の推進やインドネシアの貧しい子どもたちへの教育支援を行っているNPO法人トウマンハティふくおかの弥栄睦子さんにインタビューさせていただきました。

福岡を外国人にとって過ごしやすい街にするためにされている様々なイベント、ハラルの認知活動、若い世代に向けたメッセージをお話しいただきました。

FUNNに加盟されたきっかけは？

2003年に留学生たちと任意団体「インドネシアの子供の教育を救う会(現NPO法人トウマンハティふくおか)」を立ちあげた時は、会費はどうするのか、どうやって人集めを

するのか、どう運営するのか……。

NGOについてさっぱりわかりませんでした。そんな時に参加した「地球市民どんたく」で、国は違えどもNGO活動歴の長い団体が多く加盟するFUNNのことを知り加盟しました。

FUNNに加盟するメリットは？

インドネシアのことについてだけでなく、他の国の支援活動のことも



左から、トウマンハティふくおか代表理事 弥栄さん、バリ島で日本語教育をされている荒木さん、FUNNインターンの富嶋

知ることができて勉強になります。グローバルな視点で物事を考えられることはメリットですね。

FUNNには加盟団体が多数あり、そこで相談に乗ってもらえたり悩みを聞いてもらったり、アドバイスをいただいたりできることはとてもいいと思います。

学生へメッセージをお願いします

これからは多文化共生の時代になつてくると思います。そんな中、先入観なく外国人を受け入れてくれるのは今の大学生、もしくはもつと若い子たちだと思っています。行政でも取り組みはありますが、やっぱり草の根で国に関係なく友達をたくさん作っていくことがいっつの間にか多文化共生になるんです。

やっぱり人間はみんな同じです。深く付き合えば付き合うほど人間同士のつながりができると思えます。だから皆さんには積極的に海外の人と関わっていつてもうえたらなと思います。

NPO法人トウマンハティふくおか

福岡に150人近くが暮らすインドネシア留学生と協力しカルチャーデイやどんたくなどで交流イベントを行う。団体設立からほぼ毎年イベントを開催し続けている。
<http://temanhati.jimdo.com/>



2019年3月31日には「あじび」にてインドネシアカルチャーデイを開催。バリ舞踊のパフォーマンスやワークショップを実施されました。

フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC九州)

福岡の大学生による団体でワークキャンプをメインに活動。主に日本・フィリピン・中国・ネパールの4か国へ支援を行う。
<https://fiwckyushu.jimdo.com/>

フレンズ国際ワークキャンプ九州（F・W・C九州）

福岡の大学生による団体、F・W・C九州の田中ゆうさんにインタビューさせていただきました。ワークキャンプって何？という質問から学生ならではの悩みなどをお聞きしました！

ワークキャンプってどんなこと？

ワークキャンプとは、実際に現地でも暮らしながら現地の方と一緒に行動し、相手と同じ目線に立って活動することです。活動例としては、インフラ整備や差別の啓発活動をしています。

どんな活動をされているのですか？

フィリピンでは貧困の地域や貧困に焦点を当てています。私達はともに暮らし、ともに働くことをモットーとしています。インフラを整備して、住んでいる方たちに大切に使うてもらえるように働きかけることで、村の自立的な活性化を目指しています。



ネパールのホームステイ先にて

中国では主にハンセン病の啓発活動をしています。現在は特効薬も開発されており、治る病気として知られています。しかし、体や手足が変形したりと、目に見える症状が出るため、感染力が弱いにもかかわらず人々に恐れられ、差別された歴史を持つ病気でもあります。様々な国でハンセン病患者の方々が隔離された歴史があり、社会との距離があります。私達は中国にあるハンセン病から快復した村で、現地

NGOの方とともに村人へのケアやハンセン病の啓蒙活動をしています。

ネパールでの活動は、2015年に起こったネパール大震災をきっかけとしています。その復興支援として活動をはじめ、その後は水道などのインフラ整備を行っています。

日本国内では全国にあるハンセン病療養所への訪問活動を行っています。また、耶馬溪で農業キャンプを行い、耕作放棄地の増加や過疎化といった問題について考えたり、福智町で地域活性化のための取り組みを行ったりしています。

他にも半年に一回、国内・国外それぞれのキャンプの報告会を実施。キャンプの決起会、海外に渡航する際の注意事項、安全対策などについて学ぶ勉強会なども行っています。この活動は交流の場にもF・W・Cの横のつながりを強くする場にもなっています。

FUNNに加盟し続けている理由は？

運営のことでFUNNから学ぶことが多くあります。学生だからという理由で何でも許されるわけじゃないじゃないですか。FUNNの人たちは近くにいってくれるけど、F・W・Cの姿を外から見られる存在です。よくないなと思っていただけを言われた時にきちんと直そうと思わせてくれる、そういう存在です。

失敗談は？

F・W・Cは失敗しかありません。ずっと失敗して。活動の中では人と関わることが多く、その中の失敗

敗がたくさんあります。そこで、先輩たちが失敗してきただことを後輩たちに共有して「こういうことがあったから次はこうしよう」と改善していきます。フィリピンキャンプが一番わかりやすい例で、昔、水道を引くときにそこが私有地なのを知らなくて大変だったことがあったから、「水道を引いたり道路を作るときにはそこがパブリックか私有地かを確認しよう」というように毎年改善を行っています。何も問題が起こらないことはまずないです。

今後の課題は？

今後の最大の課題は引継ぎです。わたしたちは大学生なので、学年が上がることによってメンバーが入れ替わります。引継ぎの内容を後輩がどれだけ聞いてくれるか、先輩がどれだけ伝えられるかに左右されています。

学生に向けて伝えたいことはありますか？

自分を犠牲にしてまで協力をしてほしいとまでは言わないけれど、私たちが知らないところで困っている人達がいるというのを知ってもらいたいです。それに対して「自分が動きたい」「ちよつとでも何かしたい」という気持ちがあるのならぜひ「一歩動いてほしい」と思います。自分に自信がないとか「私なんか……」と思つたのであれば、話を聞いてみたり、記事を読んでみたりするのと、そこで生活する人の目線や考え方が見えてくるのではないかと思います。F・W・Cがそのきっかけの一つになればいいと思います。

FUNNでのインターンを終えて

大平帆南

今まで聞いたことはあるけれどあまりよくわからなかったNGOという存在が、実は思っていたよりも自分の身近にあることに気づいた二ヶ月間だったように思います。

NGOの方々から色々なお話を聞かせていただいて、無関心であることの怖さ、知ることの大切さを知りました。

人によって興味を持っていることは違いますが、興味のないことも人それぞれだと思いますので知らない分野があるのは仕方ないことなのではないかと思えます。しかし、知っているのと知らないのでは大きく違うのだということを知り、このインターンを通して学ばせていただきました。興味が無いから知らないままでいいや、というのではなく、まずは知ることから一歩踏み出してみることが大切なのだと気づくきっかけにもなりました。

FUNNで学んだこと、このインターンを経験したことをこれからの大学生活だけでなく、社会に出たときにも生かしていきたいと思えます。二ヶ月間、短い間でしたがありがとうございました。

富嶋菜々香

インターンが終わろうとしている今の気持ちを一言でいうと「短かったー」です。事務所に行くたびに新たな気づきがあり、知りたいことやってみたいことが生まれ続けた2か月でした。友人からの紹介で何もわからないままインターンを始めたのですが、本当にインターンをして良かった、FUNNを選んでよかったと思えます。

私は大学で芸術工学を専攻しているのですが、その自分の専攻と国際協力が繋がるとは全く思っていませんでした。NGOに参加するときには専攻分野とはまた別物だ！と考える活動しようと思っていたので、私の今の学びがこの世界でも活かせるかもしれないと思ったのはとても大きい発見でした。

今後も視野を狭く持たずに、時間がある今のうちにいろんな世界を見てみたいですね。そして、このインターンでのたくさんの出会いを大切にこれからも頑張りたいと思えます。2か月間、本当にありがとうございました。

事務局より

大平さん、富嶋さんの二人にインターン活動をしていただきました！

紙面でもご紹介させていただいた研修への参加、SDGs教材の作成、国際協力ニュースの紙面の作成の他、SNSの運用や事務作業の手伝いなど、その活動ジャンルは多岐にわたりました。積極的に学ぼうとする姿勢が印象的でした。今後、国際協力の分野へ進むにしろ、進まないにしろ、いい経験になっていれば幸いです。

活動終了後にはインターン派遣団体にて報告会が行われました。他の団体へ派遣されたインターン生も多数参加。そのなかで、FUNNインターンの二人はFUNNでの活動期間中に考えた新たな事業案を発表しました。審査の結果はなんと最優秀賞!!

FUNN事務局員はちょうど出張中で会場に行けなかったのですが、その知らせを受けて大喜び! 会場に駆けることができなかったのが悔やまれます。



SDGsの教材をイベントでさっそく活用しました!



インターン報告会 受賞時の様子
(左:富嶋さん 右:大平さん)

Event Information

FUNN周辺の「耳より」イベント情報



トゥマンハティふくおか

5/3,4 博多どんたく港まつり
パレード・演舞台

「博多どんたく港まつり」のパレード参加の募集をいたします。

<5月3日(金/祝)>

11:05~11:15 新天町演舞台 アンクルン演奏
13:00~13:10 岩田屋三越演舞台インドネシア舞踊団
14:16~14:41 どんたくパレード
16:50~17:00 博多駅本舞台 インドネシア舞踊団

<5月4日(土/祝)>

11:45~12:00 キャナルシティ演舞台インドネシア舞踊団
15:00~15:10 市役所本舞台 インドネシア舞踊団
16:52~17:17 どんたくパレード

■お申込みはこちら

<https://temanhati.jimdo.com/>

PP21ふくおか自由学校

5/11 2019年連続講座・第1回講座
スポーツと愛国心 ボクシングがつなぐ
日本とフィリピンの戦後

■日時：5月11日(土)

開場17:30/開演18:00/終了20:30

■会場：ココロンセンター・福岡市人権啓発センター (福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ8F)

■定員：60名

■参加費：1,000円 (学生半額)

■主催：PP21ふくおか自由学校

■予約：ohyamayairochou@yahoo.co.jp /

090-4357-7596 (藤岡)

■問題提起：乗松 優さん

1977年愛媛県松山市生まれ。九州大学大学院比較社会文化学府修了。博士(比較社会文化)。専攻は、スポーツ社会学、カルチュラル・スタディーズ(文化研究)。著書に『ボクシングと大東亜東

洋選手権と戦後アジア外交』(忘羊社)や「『フジヤマのトビウオ』とブラジル日系コロニアの戦後」『現代思想』2019年4月号(青土社)など。

6/22 2019年連続講座・第2回講座
8年目のフクシマ
東日本大震災の教訓と避難の権利

■日時：6月22日(土)

開場17:30/開演18:00/終了20:30

■会場：ココロンセンター・福岡市人権啓発センター (福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ8F)

■定員：60名

■参加費：1,000円 (学生半額)

■主催：PP21ふくおか自由学校

■予約：ohyamayairochou@yahoo.co.jp /

090-4357-7596 (藤岡)

■問題提起：齋藤直志さん

東日本大震災津波被害を宮城と福島の間境沿岸部で経験し、原発事故も重なり家族で福岡へ移住。一般社団法人東日本大震災を伝える会で体験談を通じて防災減災の普及活動を行っています。福島原発事故被害者救済九州訴訟の原告でもあります。

NGO福岡ネットワーク

倶楽部FUNN

【『食』の可能性 ～アフリカの
マラウイで感じたこと～】

■日時：5月17日(金) 19:00~21:00

■ゲスト：木原 悠希

短大卒業後、栄養士として病院、老人ホームで務めた後、2016年から青年海外協力隊員としてマラウイで栄養改善活動に従事。2018年帰国。4月より大学で改めて栄養学を学び直し、世界で活躍できる栄養士を目指す。

【Bangladesh現地訪問報告会】

■日時：6月7日(金)19:00~21:00

■ゲスト：Bangladeshと手をつなぐ会
河村富美子(看護師/理事)

田島寛(歯科医師/会員)

インドとの国境に近いBangladeshのカラムディ村をほぼ毎年訪問。教育、保険医療、生活向上の分野で支援を継続し30年となる「Bangladeshと手をつなぐ会」。代表の二ノ坂医師は、その功績を認められ、先日、厚労省後援の医学功労賞を受賞し、天皇陛下に拝謁する機会を得ました。今回はその最新の活動報告会となります。

■会場：福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4A福岡NPO共同事務所「びおとーふ」内

■食事メニュー：原田事務局長の手料理

■参加費：一般 1,200円 / FUNN会員・加盟団体会員・学生 1,000円

■定員：20名(先着順。料理の準備があるので事前にお申込みください)

■お申込み方法

- (1) ウェブサイトから
- (2) TEL/FAX:092-405-9870

★FUNNの最新情報は
Facebookでチェック!



★メールマガジン

『Fun! Fan! FUNN!』
では最新イベント情報を配信中!
ぜひご登録ください

<https://ngofukuoka.net/mailmaga/>



正会員団体 (26団体)

- * (特活) ISAPH
- * アジア開発銀行NGOフォーラム
- * (特活) アジア女性センター
- * (特活) 明日のカンボジアを考える会
- * 認定NPO法人 ACE
- * (特活) エスペランサ
- * (特活) 九州海外協力協会
- * コミュニティコミュニケーション・サポートセンター
- * 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- * 佐賀NGOネットワーク
- * JVC九州ネットワーク
- * (特活) じゃっと
- * 認定NPO法人ソルト・パヤタス
- * 認定NPO法人 地球市民の会
- * チベットを知る会
- * NPO法人トゥマンハティふくおか
- * (特活) NICE (日本国際ワークキャンプセンター)
- * 国際協力NGO NESTEP
- * ネパール歯科医療協力会
- * (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- * バングラディッシュビルガボン村診療所
実行委員会
- * PP21ふくおか自由学校
- * (財) 福岡YMCA
- * フレンズ国際ワークキャンプ九州
- * (一社) ミドリゼーションプロジェクト
- * モザンビークのいのちをつなぐ会

編集後記

今回の「国際協力ニュース」は2月から3月にFUNNでインターンをしていた学生の2人に制作の大部分をお願いしました。事務局としては少しだけアドバイスをするくらいでしたが、2人は吸収が早く、すぐに技術を自分のものにしていました。これを読んでいる学生のみなさん、どういう風には感じましたか？ インターンってどんなこと？ 国際協力ってどんなことだと思いましたか？ よければぜひご意見・ご感想などお聞かせください！ (編集:住本)

mail: funn@ngofukuoka.net
twitter: @FUNN_NGO

FUNN 応援寄付 募集中!

2019年に、NGO福岡ネットワーク (FUNN) は設立から26年を迎えます。26年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNを作りました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力の参加促進等の事業を行ってきました。これまでご支援いただいた皆さま、本当にありがとうございます。

これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからの考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力し、そのための寄付を募っていきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

★ 会費・寄付の振込先

郵便振替口座名：NGO福岡ネットワーク 口座番号：01790-7-89478

※入会のお申込みにつきましては、下記連絡先までお問い合わせください。
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net

会員の種類について

FUNNは、26のNGOがネットワークを作り、会員団体には資質向上のための学習会、広く市民の方々にはNGO活動をお知らせし、共に考える各種活動を行っております。その活動の一環として「国際協力ニュース」を発行し、会員の方には隔月郵送しています。FUNNには以下の会員制度があります。この機会にぜひご検討下さい。

- ◆ 正会員 団体 10,000円/1口: FUNNの目的に賛同して入会する団体
- ◆ 賛助会員 企業 30,000円/1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業
- ◆ 賛助会員 団体 10,000円/1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体
- ◆ 賛助会員 個人 6,000円/1口: FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人
- ◆ 通信会員 3,000円/1口: 機関誌の定期購読のために入会した団体や個人

福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

FUNN

NGO福岡ネットワーク FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」内

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています (外務省委嘱) ◆◇◆

* 火～土 13:00～18:00 * 日・月・祝…休み

※事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。

※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

